

# おもしろ算数②⑨ (3～6年生)

(このページは、<sup>ちよくせつにゆうりよく</sup>直接入力できません。そのまま<sup>みる</sup>見るか、<sup>つかって</sup>いんさつして使<sup>!</sup>ってね !!)

小学校3～6年生のみなさん、こんにちは。

おもしろ算数②⑨では、「<sup>ず</sup>図を描く時の<sup>どうぐ</sup>道具」のお話です。



(さんすうはかせ はなし)  
【算数博士の話】

今日は、<sup>さんすう</sup>算数で<sup>つかう</sup>使う<sup>ず</sup>図を描く時の<sup>どうぐ</sup>道具の話をしてします。

下に示した①、②は、みなさんが<sup>ふだん</sup>ふだん使<sup>つかって</sup>っている<sup>どうぐ</sup>道具ですが、<sup>じつは</sup>実は、<sup>ほんとう</sup>本当の<sup>つかいかた</sup>使い方は、<sup>ふだん</sup>普段とは<sup>ちがって</sup>違っていることがあります。

① <sup>じょうぎ</sup>定規・・・<sup>じょうぎ</sup>定規は、「<sup>へいめんじょう</sup>平面上の<sup>にんい</sup>任意の2点間を<sup>てんかん</sup>通る<sup>と</sup>直線<sup>とおる</sup>を<sup>ひく</sup>引くことができる<sup>どうぐ</sup>道具」をいいます。

したがって、<sup>ながさ</sup>長さや<sup>かくど</sup>角度を<sup>はかる</sup>測ることなどには使えませんが、

② <sup>ものさし</sup>ものさし・・・<sup>せんぶん</sup>線分の<sup>ちようたん</sup>長短を<sup>さし</sup>差し<sup>はかる</sup>測る<sup>どうぐ</sup>道具をいいます。  
したがって、<sup>そくていきぐ</sup>ものさしは<sup>せん</sup>測定器具なので、<sup>ひく</sup>線を<sup>ひく</sup>引く時に<sup>つかえません</sup>は使えませんが、

★みなさん、「えっ」と<sup>おもい</sup>思いませんでしたか。

みなさんは、<sup>せんぶん</sup>線分の<sup>ながさ</sup>長さを<sup>はかる</sup>図るときに<sup>じょうぎ</sup>定規を<sup>つかって</sup>使っていませんでしたか。

みなさんは、<sup>つかって</sup>ものさしを<sup>せん</sup>使って<sup>ひいて</sup>線を<sup>ひいて</sup>引いていませんでしたか。

<sup>ず</sup>図を描く時の<sup>どうぐ</sup>道具である「<sup>じょうぎ</sup>定規」や「<sup>せん</sup>ものさし」には、<sup>じつは</sup>実は「<sup>なん</sup>何のために

<sup>つくられた</sup>作られた<sup>どうぐ</sup>道具なのか」という<sup>いみ</sup>意味が<sup>こめられて</sup>込められているのですね。